



しばた 町あるき

SHIBATA MACHIARUKI GUIDE MAP

蔵春閣周辺と大倉喜八郎編



新潟県新発田市



大倉喜八郎 ゆかりの地を 歩いてみよう

蔵春閣周辺エリアには、
城下町の歴史と文化を
感じられるスポットや
おいしいランチのお店などが
点在しています。
風情あふれる街並みを楽しみながら、
のんびり散歩してみませんか？

おすすめ散策

新発田駅

↓ 徒歩3分

大倉記念公園

↓ 徒歩5分

蔵春閣

↓ 徒歩2分

諏訪神社

↓ 徒歩3分

清水園・足軽長屋

↓ 徒歩2分

寺町通り・宝光寺

所要時間:約2時間



SHIBATA MACHIARUKI MAP

しばた 町あるき マップ

蔵春閣周辺と大倉喜八郎編

※町あるきの目印となる標柱を令和5年秋設置予定です。

SHIBATA MACHIARUKI SPOT

歴史と文化が薫るまち しばたを散策

蔵春閣

1912(明治45)、東京の向島、隅田川沿いに建てられた大倉喜八郎の別邸。政財界の大物や海外からの賓客をよてなすための迎賓館として使われ、歴代首相や渋沢栄一なども訪れたといわれる。2022(令和4)年、(公財)大倉文化財団より新発田市へ寄贈。喜八郎ゆかりの東公園に移築され、2023(令和5)年4月より一般公開されている。



二階
大広間には
月見台も

建物内部は三十三畳の大広間や書院のほか、椅子式の洋風スタイルに対応した食堂、大理石モザイク貼りの廊下など和洋折衷の造りで、喜八郎が収集した調度品や美術品のほか、海外の要人から贈られた螺鈿細工の家具や水晶のシャンデリアなども。

新発田市諏訪町1-9-20

☎0254-28-3255

開館時間 / 9:00~16:00

(最終受付15:30)

休館日 / 木曜日、年末年始

入館料 / 大人500円、小・中学生400円

諏訪神社

「おすわさま」の愛称で親しまれる新発田の総鎮守。648(大化4)年、現在の聖籠町諏訪山に鎮座したのが始まりとされる。1756(宝暦6)年に7代藩主溝口直温侯によって建立された社殿は2001(平成13)年に焼失し、2004(平成16)年に再建された。「豊かな生活を支える神」である建御名方命を主神とし、境内には五穀豊穡や商売繁盛の神「稲荷神社」や火伏の神「五十志霊神社」なども祀られているほか、長野の諏訪大社より下賜された御柱も安置されている。



御朱印帳も
あります!

新発田市諏訪町1-8-9

☎0254-22-2339

社務所窓口 / 9:00~17:00



国指定
名勝

敷地内には、新発田が生んだ剣豪、堀部安兵衛ゆかりの品々や資料などを展示する「堀部安兵衛伝承館」や新発田藩の歴史を学べる「新発田藩史料館」も併設されている。

清水園

旧新発田藩下屋敷。遠州流の茶人で幕府茶道方であった縣宗知を江戸から招いて造られた4,600坪の広い庭園を有した。昭和20年代に庭師の田中泰阿弥が荒廃した庭園全体を修復し、現在の姿となった。近江八景をとり入れた純京都風で、中央に草書体の「水」の字をかたどった大池泉のある回遊式庭園には5つの茶室が配され、四季折々の表情をみせる。

本物の
ちょんまげも
展示



国指定
重要
文化財

足軽長屋

新発田藩の足軽が暮らしていた長屋形式の住居。茅葺き造りの八軒長屋で、当時の足軽の暮らしが偲ばれる。



昭和43年
まで人が
住んでいた

清水園・足軽長屋

新発田市大栄町7-9-32

☎0254-22-2659

開館時間／9:00～17:00(3月～10月)、

9:00～16:30(11月～2月)

休館日／年末、1月・2月の水曜日

(祝日の場合は翌日)

入館料／大人700円、小・中学生300円

体感型酒蔵リゾート「五階菱」／王紋酒造

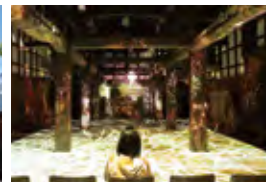
200余年の歴史を誇る老舗酒蔵が「体感型酒蔵リゾート」としてリニューアル。五階菱は、新潟県の観光施設で文化庁より初めて日本博に認証され、酒蔵の歴史や酒造りの工程などの展示や体験を通して楽しめる観光スポットに生まれ変わった。旧仕込み蔵を舞台にしたプロジェクションマッピングや鏡開き体験をはじめ、利き酒コーナーでテイastingを楽しむことも。お土産コーナーには、県内の主要酒蔵の日本酒や、地元のスイーツや加工品が並び、新発田の食や文化を堪能できる。施設敷地内には古い土蔵を改装したカフェ「諏訪ノ森喫茶室」も併設。

五感で
酒蔵体験!

新発田市諏訪町3-1-17

☎0254-22-5150

営業時間／9:00～18:00(年中無休)



喜八郎ゆかりの スポットをたずねる



新発田駅前公園 (大倉記念公園)

1919(大正8)年、喜八郎は株大倉製糸新発田工場を建設し、操業を開始。近隣の女性たちが女工として働いたが、1981(昭和56)年に工場は閉鎖された。現在その跡地には県立新発田病院が建ち、病院前の公園には胸像と石碑が設置されている。



郷土の
殖産興業に
貢献



大倉製糸新発田工場



双子の
石碑の一つが
ここに



裏側の
文字も
チェック!

喜八郎さんが
残したものが
点在してるね



東公園

1916(大正5)年、喜八郎は3,000坪の土地を購入して公園を造成し、新発田町に寄附した。同年、公園内に喜八郎の銅像が建立されたが、戦時中に国の金属回収令で供出。1956(昭和31)年、市民有志により再建され、のちに新発田駅前公園に移設された。

諏訪神社の石鳥居

諏訪神社の大きな石鳥居は喜八郎が寄贈したものの。当時は一ノ鳥居として設置されたが、現在は社殿の東側に移設されている。門の裏側には「男爵大倉喜八郎」の文字が刻まれ、しめ縄は、下町町内会が毎年手づくりして奉納している。



大倉喜八郎
と新発田

生まれ故郷、新発田への想い

喜八郎が初めて新発田へ帰郷したのは、1905(明治38)年、69歳の時だった。このとき喜八郎は現在の五十公野公園で園遊会を催して郷里の人々をもてなし、諏訪神社周辺を公園として整備(現在の東公園)したほか、水道設備や羽越鉄道開通にも尽力した。1916(大正5)年、喜八郎

80歳のとき、自身の銅像の除幕式に参列するため2度目の帰郷を果たす。このとき新発田の地に工場の煙突が見られず、産業がないことに気づいた喜八郎は、2年後の1919(大正8)年、大倉製糸新発田工場を設立。新発田の産業発展にも寄与した。



廣澤山 宝光寺

新発田藩主、溝口秀勝侯の加賀大聖寺藩主時代に創建。秀勝侯の移封とともに1612(慶長17)年に現在地に移る。歴代藩主の菩提寺として初代秀勝侯から10代直諒侯までの歴代藩主がここに眠る。境内には本堂、総門、山門、経蔵、回廊、鐘楼と曹洞宗の伽藍要素を有している。山門は新発田市指定文化財。

新発田市諏訪町2-4-17

☎0254-22-4376

淨見堂拝観料／200円(高校生以下無料)

『寺町通り』とは

宗派の異なる
9箇寺が立ち並び、
風情あふれる通りです



喜八郎より寄進された 十六羅漢図

宝光寺には、大倉喜八郎より寄進された十六羅漢の掛け軸16幅が保管されている。そのうち7幅は展示されており、見学することができる。喜八郎の長男、喜七郎の名で寄進されたことを記した寄進札板も残されている。



双子の石碑



1916(大正5)年、喜八郎が80歳のときに、自身の商売の礎となった祖父・定七を称えるために一つの石を二つに割って作られ、新発田市東公園と東京都港区「大倉集古館」敷地内に置かれた。大倉集古館の改装工事を機に約100年の時を経て新発田市へ寄贈移設され、現在は新発田駅前公園(左)と新発田市東公園(右)に建つ。

大倉製糸新発田工場



- 1) 伝習制度による育成。毎年就労予定者を集め、技能を学ぶ。
- 2) 御法川式操糸機。国内で開発された新しい操糸機を新発田工場に導入。
- 3) 工場の玄関前にて観櫻会の仮装。観櫻会には、幟や山車も加わり駅前の工場を出発する

大倉喜八郎 PROFILE

1837(天保8)年、新発田生まれ。18歳で上京し、鯉節店の丁稚見習いから天性の商才と努力で大倉財閥を築き上げ、渋沢栄一らと共に、鹿鳴館、帝国ホテルなどを設立。近代日本の発展に大きく貢献した。事業で得た財を文化事業に還元し、日本初の私立美術館を設立したほか、大倉商業学校(現東京経済大学)を創設するなど多方面で大きな功績を残した。

※喜八郎の年齢は数え年

蔵春閣周辺の ランチスポット

散策に疲れたら、おいしいランチのお店へGo!
新鮮な魚介や地元の特産品を使ったメニューから、
ボリューム満点の庶民の味まで、
しばた自慢の味を楽しんで。



オススメ
寿司丼
蕎麦セット

① 鮨和食ながしま

新発田駅西口から徒歩1分、創業50年以上の歴史をもつ和食店。旬の地魚や地元の食材を使った寿司料理が人気で、ランチはリーズナブルなセット、夜は本格にぎりもゆったりと味わえる。地酒も豊富。

新発田市諏訪町1-2-10

☎0254-22-2275

[営] 11:30~14:00、17:30~21:00

[休] 火曜日、月1回連休あり



オススメ
シューマイ

② 本田屋食堂

麺類や丼もの、定食など40種類以上の幅広いメニューとボリューム満点の庶民の味で人気の店。あまりの大きさに初めての人は驚くというジャンボサイズのシューマイは、タマネギの甘みとふわふわ食感がたまらない!

新発田市本町1-1-3

☎0254-22-3873

[営] 11:00~14:00、

17:30~21:00(20:00LO)

[休] 水・木曜日



餃子もジャンボ!



オススメ
焼肉
ライス

③ 渡長食堂

地元民に愛され続ける老舗食堂。こだわりは、地元契約農家から仕入れるコシヒカリと、杉の樽で2年間熟成させる秘伝の自家製醤油とか。オリジナルのタレが絶品の「焼肉ライス」はボリューム満点で大人気!

新発田市本町1-1-4

☎0254-22-3047

[営] 11:00~14:00、

17:00~20:00 ※早じまいの場合あり

[休] 日曜日



五日あんかけラーメンも!

オススメ
釜飯
コース



4 谷平

地元の食材にこだわった伝統の味を提供する老舗日本料理店がフルリニューアル。料理は手頃楽しめるものから豪華なコースまで幅広いラインナップに。前日までに要予約。お土産にもできるテイクアウトメニューも充実。

新発田市諏訪町1-3-25-2

☎0254-22-6666

[営]11:00~22:00

[休]月曜日(その他月2回)

味噌漬けもおすすめ!



オススメ
季節の野菜
カレー



5 庭園カフェ いちしま

500坪の日本庭園を眺めながら甘味やお茶を楽しめる。人気は季節感あふれる和菓子と香り豊かな抹茶の『抹茶セット』。ランチには地産産の野菜を使ったカレーも提供。しつらいや器にも心配りが感じられる丁寧なおもてなしに、心もほっこり。

新発田市諏訪町3-1-17

☎0254-26-1011

[営]10:00~17:00

[休]水・木曜日、ほか不定休

抹茶クリームあんみつ



オススメ
麩
カツ丼



6 米蔵ココロ

国指定名勝「清水園」内のかつて米蔵だった建物を改装して作られた店。地元食材や名産品を取り入れたメニューが人気だが、なかでもイチオシは、新発田名物の麩を使った「麩カツ丼」だ。デザートには、「押し麩のティラミス」も。

新発田市大栄町7-9-32 清水園内

☎0254-28-7378

[営]11:30~14:30(L.O.14:00)

※夜の営業は完全予約制

[休]水曜日、ほか不定休



オススメ
週替り
パスタ



7 TAICOや

ギャラリー展示なども行うアットホームなカフェ。具材がたっぷり入った週替りパスタや、特製のスパイシーカレーがおすすめ! 無添加にこだわっているの、お子さま連れでも安心。

新発田市中央町1-2-1

☎0254-26-6269

[営]11:00~17:00

[休]日曜日・祝日

手づくりクッキーも人気!



8 体感型酒蔵リゾート



「五階菱」

新発田の名産品やお酒に合うおつまみなどがずらりと並ぶ販売エリアに、飲み比べが楽しめる試飲コーナーなど、日本酒・食・文化を満喫できる複合施設。遊びゴコロ満載の「酒ガチャ」（1回500円）では、運が良ければ高級酒が当たるかも!?

新発田市諏訪町3-1-17

☎0254-22-5150

[営]9:00~18:00

年中無休

一番人気は「ランゴク」



🛍️...物販あり



9 佐々木食品



地元酒蔵の吟醸酒粕と越後味噌から作るオリジナルの味噌を使った「さけ安兵衛漬」などが人気商品。お土産には、常温で保存でき、開封してそのまま骨まで食べられる調理済みの「サバみそ」や「ヤナギカレイ」がおススメ!

新発田市諏訪町3-3-14

☎0254-22-2868

[営]9:00~17:00

[休]12月31日、元日

おいっすの
たんぽぽ



☕...飲食スペースあり



10 新柳本店



清水園の真向かいに建つ老舗和菓子店。看板商品の「清水園まんじゅう」をはじめ、越後姫のジュレを使ったミルクたっぷりの「飲むわらび餅」、ぶるぶるの新食感が美味の「葛アイス」などSNS映える商品も話題に。

新発田市諏訪町3-3-13

☎0254-22-3025

[営]8:00~18:00

[休]元日

SNS映えるお菓子



パッケージが

かわいい

おみやげ!

五階菱や
寺町たまり駅で
販売中!

さくら製菓の
『ライスクラッカー』



関川産業の
『HAPPY CAMPシリーズ』



マルコ岩村の
『新発田牛レトルトシリーズ』





11 喫茶室たゆたう



清水園内に佇む小さな喫茶室。土間づくりの古風な店内で、格子窓から庭園を眺めながらゆったりとした時間を堪能できる。丁寧に淹れられたコーヒーやチャイと手づくりの焼き菓子が心まで温めてくれるよう。

新発田市大栄町7-9-32 清水園内
☎0254-22-2659(清水園)
[営]金・土曜11:00~16:30(16:00LO)
冬期11:00~16:00(15:30LO)
[休]日曜~木曜



12 寺町たまり駅



寺町通りにある無料休憩所。地元の米や野菜を使った「おにぎりセット」や市内菓子店の和菓子和抹茶のセットが味わえるほか、お土産の販売も。館内では観光情報映像が流れ、しばたっ子台輪も展示されるなど地元の文化にも触れられる。

新発田市諏訪町2-3-28
☎0254-22-1888
[営]9:00~16:30
[休]年末年始

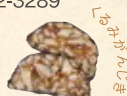


13 和泉屋



新発田名物の「ごままんじゅう」は明治23年創業の味を今に伝える看板商品。良質なこがねもち100%の杵つき餅と北海道産小豆使用のあんこで作った大福餅に、香ばしい黒ごまをたっぷりつまぶした、なめらかな食感が美味!

新発田市中央町2-1-17 ☎0254-22-3289
[営]9:30~16:30
(ごままんじゅうがなくなり次第終了)
[休]不定休



松屋茶舗の
『ほうじ茶・煎茶ティーバッグ』



正和の
『新発田づくし』



宮村製菓所の
『くるま駄』



TRAFFIC INFORMATION

あやめバス運行中

新発田の市街地を廻る「あやめバス」が運行中です。
市内の観光やちょっとしたお買い物に、どうぞご利用ください。

- [運賃] ひとり1乗車100円(小学生50円、未就学児無料)
[回数券] 「新発田市コミュニティバス」の回数券と共通。
1,000円分回数券(100円×11枚つづり)、
500円分回数券(50円×11枚つづり)
[回数券販売場所] 新発田市観光情報センター、あやめバス車内ほか
[お問合せ] 新発田市市民まちづくり支援課 ☎0254-28-9644

レンタサイクル

- [貸出場所] 新発田市観光情報センター(新発田駅から徒歩1分)
[貸出期間] 4月1日~11月30日、レンタサイクルは8:30~15:00
(最終返却16:30)
[貸出料金] 400円(電動アシスト付自転車800円)



[WEB予約]

※貸出期間内であっても悪天候により貸出ができない場合があります。予めご了承ください。



イベント情報や季節のたよりなど
新発田の町なかの魅力を発信しています!

しばた町めぐり
公式サイト



インスタグラム
はこちらから!



＼ #しばた町めぐり /



- 新発田市観光情報センター 新潟県新発田市諏訪町1-2-11 イクネスしばたMINTO館内 ☎0254-26-6789
■新発田市観光振興課 新潟県新発田市諏訪町1-2-11 イクネスしばたMINTO館内 ☎0254-28-9960

発行/2023年6月